

吉田寮の生活環境について

文：しがらみ

吉田寮は木造二階建てで、現存する大学の寮の中では日本最古のものなんですね。大学の敷地内にあるので、講義室、研究室、図書館、生協の食堂が近く大変便利です。四共という1、2回生がよく使う講義棟までは、歩いて20秒とかかりません。

吉田寮は南寮、中寮、北寮に分かれていて、全部で部屋は120室位あります。各寮の間には、鬱蒼とした草木が生えていて、梅雨の時期には、さながら熱帯雨林のような趣を見せます。吉田寮では相部屋が基本で、3人2部屋や4人3部屋がよくあるタイプです。たとえば、僕の場合だと3人2部屋で、一つを居間、もう一つを寝る部屋として使っています。寮に入った一年目は相部屋生活ですが、二年目からは、個室を希望すれば通る場合もあります。南寮と中寮の間にあるプレハブも居室となっています。各階にはそれぞれ、炊事場、勉強部屋が設けられています。また、吉田寮では、寮生有志がネット会というものを立ち上げていて、年4千円程でインターネットに接続することが可能。他にも、以下のような部屋があります。

旧印刷部屋（略して旧印）…印刷機は見当たりません。普段は、会議をしたり、鍋をしたり、新入寮生の溜まり場でもあります。おとこの新入寮生が自分の部屋が決まるまで生活する部屋です。

事務室…事務室ではありません。漫画が大量に置いてあります。ざっと5000冊程はあります。現在も漫画は増殖中。漫画を読んだり、だべったり、会議をしたり、勉強したり…。

受付…事務員さんがいる部屋。朝日、京都、毎日、読売の新聞四紙が読めます。（新聞は受付の外に持ち出さないようにしてくださいね。）鍋をしたりもします。

ゲーム部屋…各種ゲーム機（音ゲーやパソゲーもあり）揃ってます。夜には電子音が響き渡る不夜城と化します。もと応接室です。

茶室…茶会は開かれておりません。ここも、旧印同様、おとこの新入寮生が始めに生活する場です。

舎友室…おんなの新入寮生が始めに生活する部屋です。

暗室…細長くて狭くて暗くて、ちょっとあやしい小部屋。

麻雀部屋…はい、名前の通りですね。

ビリヤード部屋…使えないビリヤードが置かれています。映画を上映したり、卓球をしたりできます。最近は、あまり使われていなかったもので、有志が2010年度から住み始めることとなり、これから、場がどんどん開発される期待大。

食堂…現在は、ライブや、演劇など各種催し物が開かれます。昨年は、「吉田寮ほぼ百周年祭」が行われました。学内、学外のサークル、団体に開かれ、京大の中では貴重な

活動場所となっています。食堂の歴史については吉田寮小史を参照されたし。

屋根裏…どこにあるかは来てのお楽しみ。

厨房…主に、音楽バンドの練習に用いられています。

シャワー室…じゃじゃまる、ぴっころ、ぼろりの三室。二十四時間使えます。吉田寮にはお風呂がないので、湯船にゆっくり浸かりたいときは近くの銭湯へ。

脱衣所…洗濯機が6台ほど置かれています。いつでも使えます。

さらに、吉田寮の中には、サークルBOXが2つあり、京大機械研究会と、鳥人間コンテストに毎回出場しているバードマン (Shooting Stars) の部室があります。

最後に、“寮裏”について説明します。“寮裏”とは吉田寮の東南側、歩いて5分くらいの圏内のことです。寮生の生活とは切っても切り離せないお店が集中しています。以下それらを紹介します。

ファミリーマート…コンビニだけど2時に閉まるので要注意。

銭湯…平安湯、銀座湯がある。個人的には、ちょっと遠いけど常盤湯がオススメ。

定食屋…寮裏には、安価で量の多い定食屋が揃っています。以下、いくつか。(食事については、炊事場で自炊する、又は、生協に行くのもよし、畑があるので栽培してもよし、豚を飼育してもよし)

丸二食堂…安くて、ボリュームのある定食屋。フライ盛り合わせ (580 円) は、相当お腹が空いてないと、ぼくには食べきれません。

MIZUHO…質の高い洋食屋。鶏肉や魚のグリルやカツが食べられます。

キャラバン…学生が多く集まる定食屋。日曜もあいているので便利。

キャンディー…こじんまりした喫茶店。日替わり定食 (630 円) は、なかなかおいしい。

末広食堂…コロッケ定食など。質素なお店。

輪泉…少し遠いせいもあるのか、あんまり知られていないけど結構うまい。

ほかにも色々あるので自分のお気に入りのお店、みつけてくださ〜い。